

# 第38回 県政に関する世論調査の結果について

平成21年11月26日  
千葉県総合企画部報道広報課  
電話：043-223-2247

県政に関する世論調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的として、昭和50年度から毎年実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は本年度1回目の調査で県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、本年8月に郵送法で実施しました。

具体的な内容としては、環境と生活、健康と福祉、千葉県の農産物、市民活動団体の活動、地方分権、千葉県の施策・政策、広報・広聴活動について県民の意識調査を行いました。

## 1 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県在住の満20歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法  
※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。
- (4) 調査方法 郵送法(郵送配付一郵送回収)
- (5) 調査時期 平成21年8月5日～8月25日

## 2 回収結果

有効回収数(率) 1,633(54.4%)

## 3 調査の項目

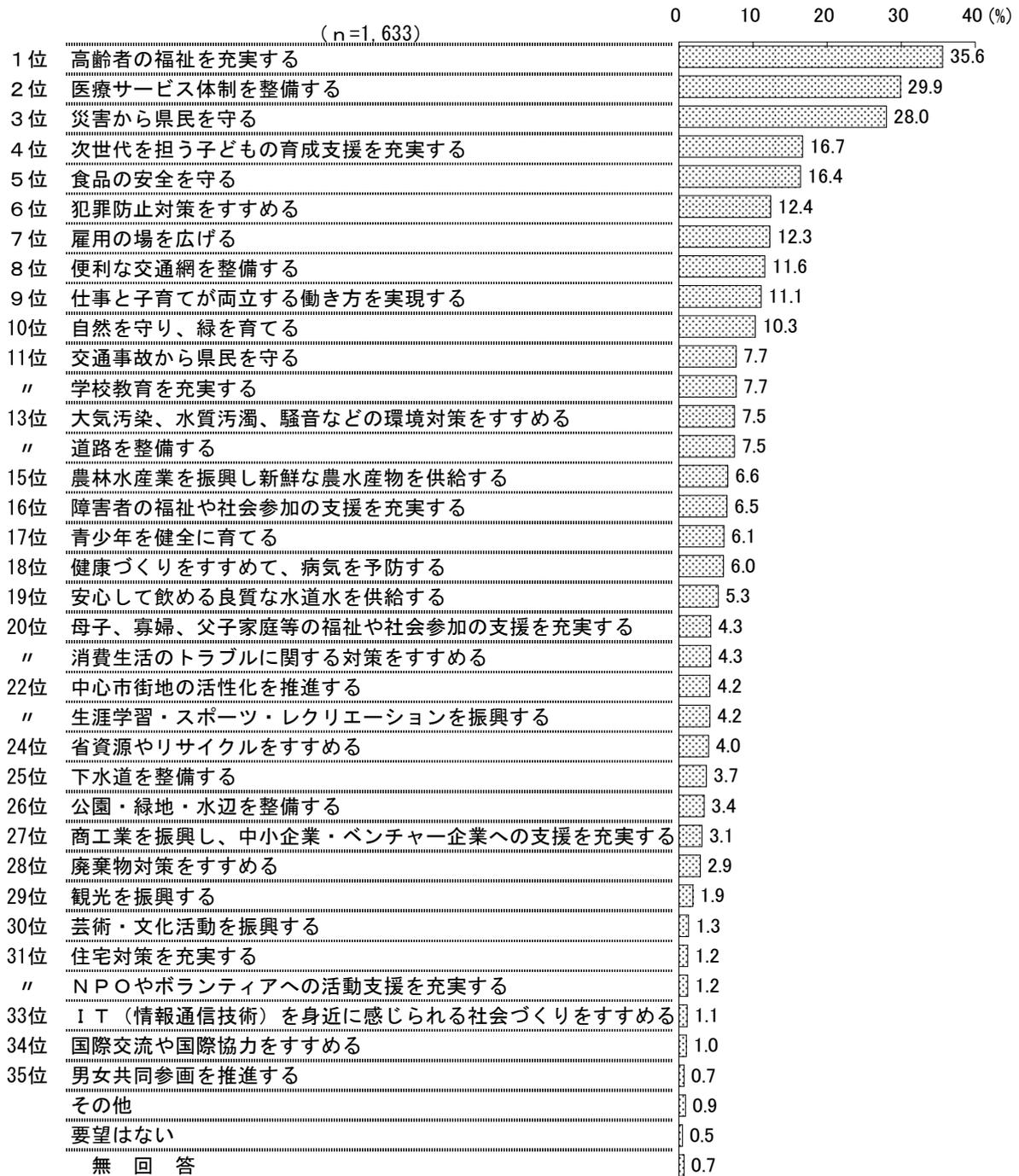
- (1) 県民意識調査
  - ①環境と生活について
  - ②健康と福祉について
  - ③千葉県の農産物について
  - ④市民活動団体の活動について
  - ⑤地方分権について
  - ⑥千葉県の施策・政策について
  - ⑦広報・広聴活動について
- (2) 県政への要望

#### 4. 調査の結果

### 1 県政への要望

#### (1) 県政への要望

(複数回答：3つまで)



#### 今回調査の主な特徴

- 「高齢者の福祉を充実する」(35.6%)が3割台半ば、「医療サービス体制を整備する」(29.9%)と「災害から県民を守る」(28.0%)が約3割であり、県民の要望が特に高い。
- 「医療サービス体制を整備する」は昨年は3位(30.9%)であったが今回は2位(29.9%)となっている。「災害から県民を守る」は昨年は2位(33.3%)であったが今回は3位(28.0%)となっている。
- 「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は昨年(14.3%)と比べ2.4%ポイント上昇し4位に、「雇用の場を広げる」は昨年(8.4%)と比べ3.9%ポイント上昇し7位となった。

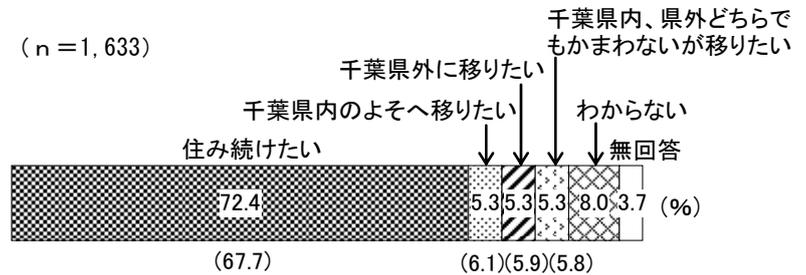
■ 県政への要望／上位 10 項目の推移



## 2 環境と生活について

### (1) 今後の居住意向

現在お住まいの地域に、今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(72.4%)が7割を超え、「千葉県内のよそへ移りたい」(5.3%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』方が77.7%で約8割である。一方、「千葉県外に移りたい」(5.3%)、「千葉県内、県外どちらでもかまわないうが移りたい」(5.3%)で1割未満となっている。

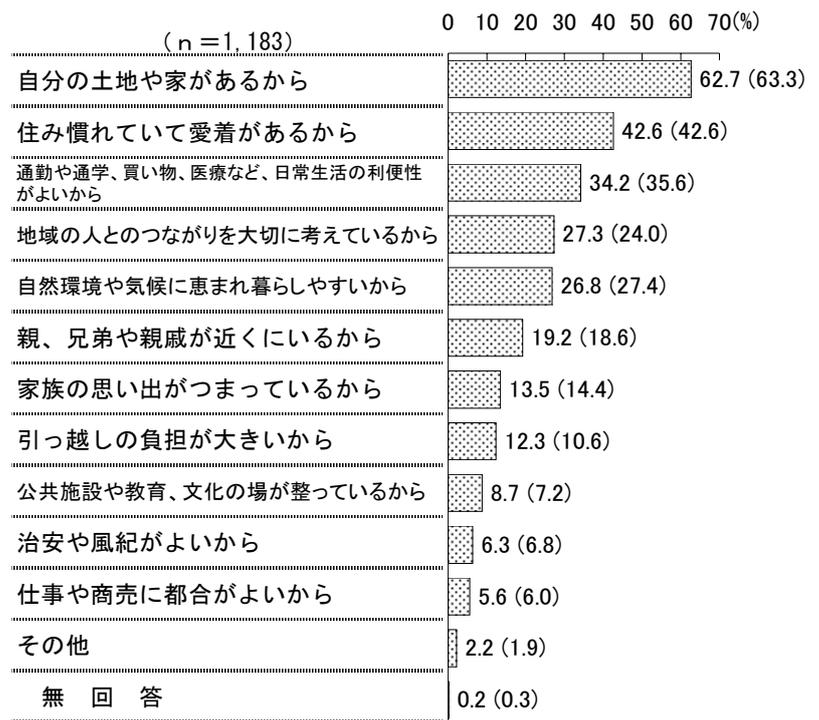


注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

#### (1-1) 住み続けたい理由

(複数回答：3つまで)

「住み続けたい」と回答した 1,183 人を対象に、住み続けたい理由を 3 つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(62.7%)が6割を超えており、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(42.6%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(34.2%)が続く。

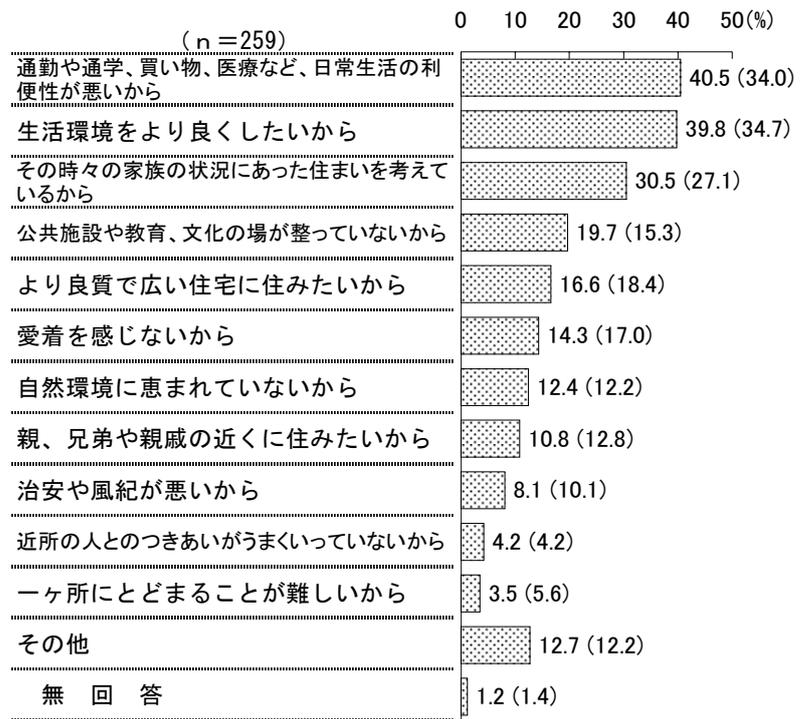


注) ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

## (1-2) 移りたい理由

(複数回答：3つまで)

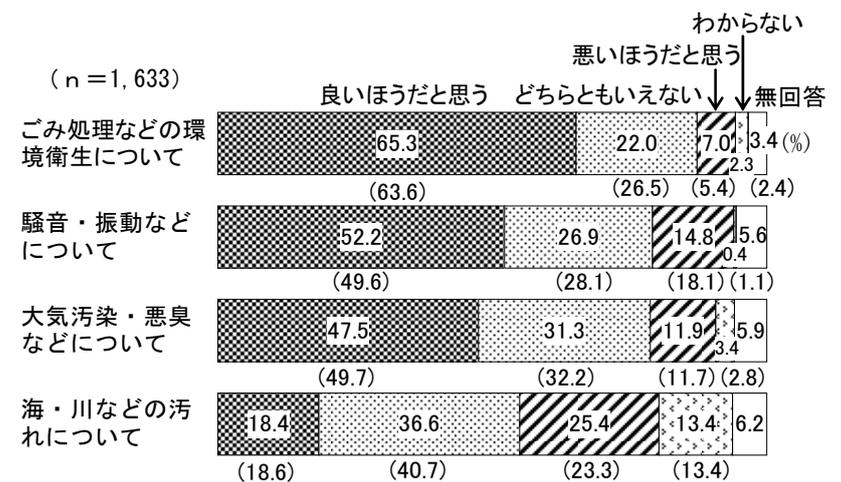
「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した259人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」(40.5%)が4割で最も高く、以下、「生活環境をより良くしたいから」(39.8%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(30.5%)と続く。



注) ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## (2) 生活環境について

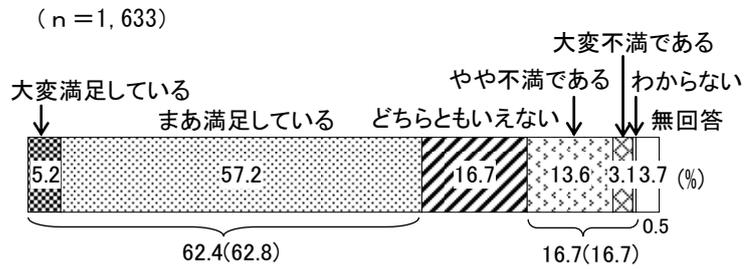
生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉(65.3%)で6割台半ばとなっている。以下、〈騒音・振動などについて〉(52.2%)が5割を超え、〈大気汚染・悪臭などについて〉(47.5%)が約5割となっている。一方、〈海・川などの汚れについて〉は、「悪いほうだと思う」が(25.4%)と「良いほうだと思う」(18.4%)を上回っている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (3) 生活環境全般の満足度

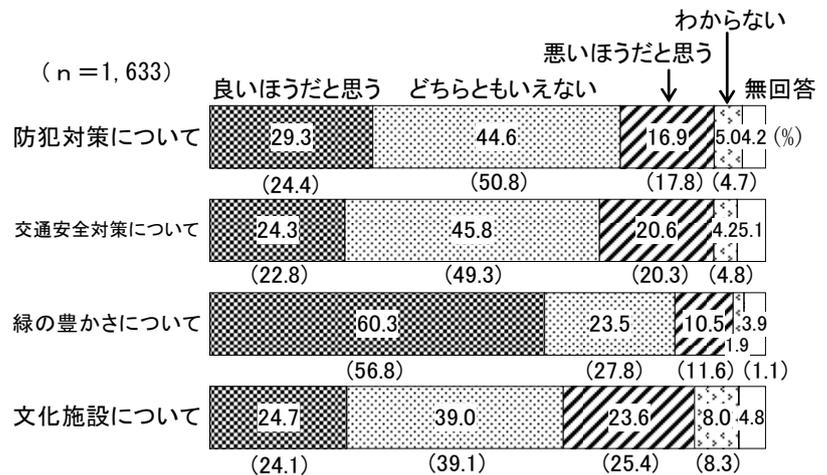
生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.2%)と「まあ満足している」(57.2%)を合わせた『満足している』(62.4%)は6割を超えている。一方、「やや不満である」(13.6%)と「大変不満である」(3.1%)を合わせた『不満である』(16.7%)は1割台半ばとなっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (4) 自然・周辺環境について

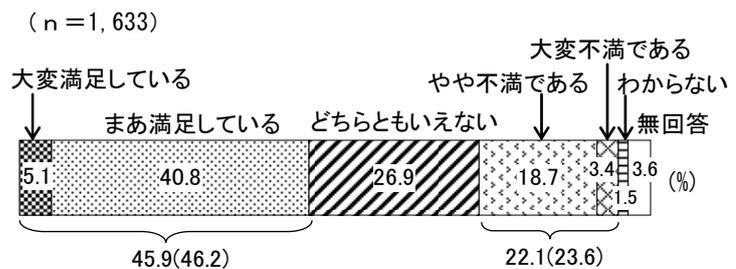
自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(60.3%)が6割で、次に〈防犯対策について〉(29.3%)が約3割となっている。一方、それ以外の2項目については、「良いほうだと思う」がいずれも2割台半ばとなっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (5) 自然・周辺環境全般の満足度

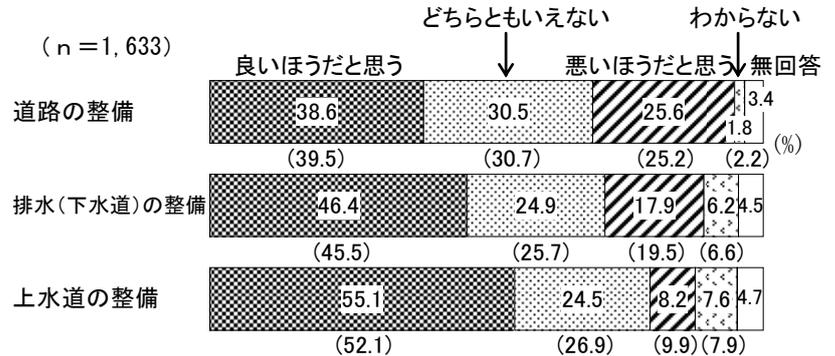
自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.1%)と「まあ満足している」(40.8%)を合わせた『満足している』(45.9%)は4割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(18.7%)と「大変不満である」(3.4%)を合わせた『不満である』(22.1%)は2割を超える。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## (6) 基盤整備について

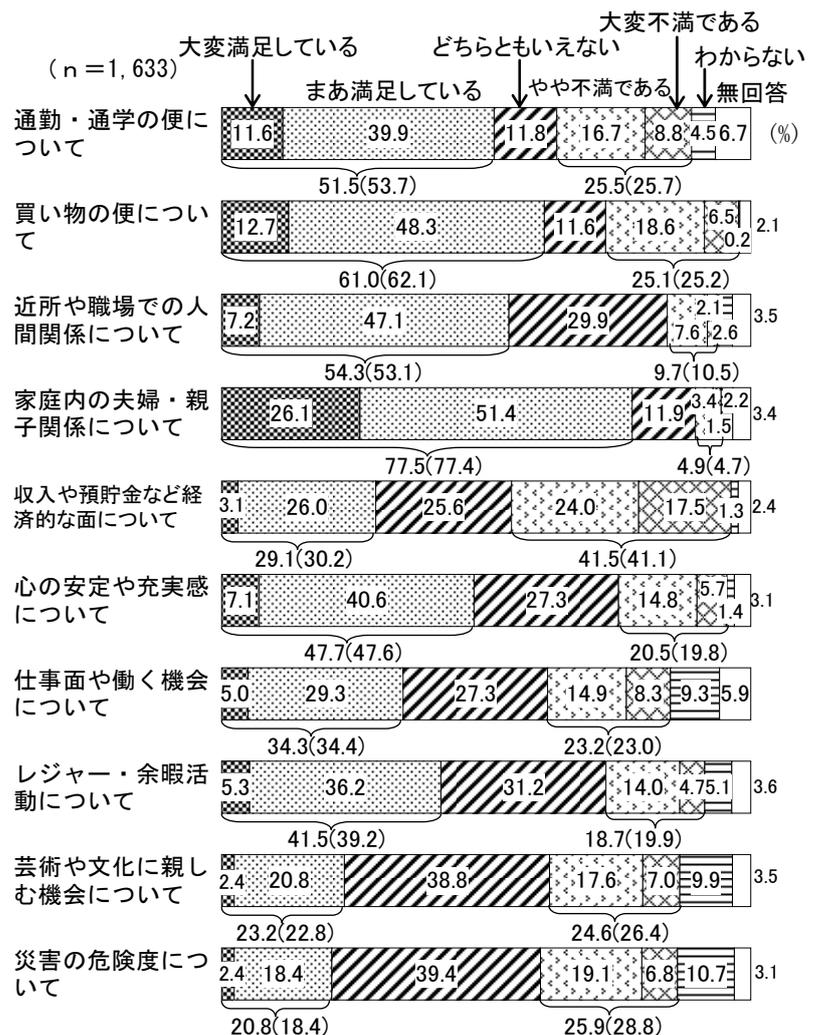
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(55.1%)で5割台半ばとなっている。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(46.4%)が4割台半ばとなっている。〈道路の整備〉は「良いほうだと思う」(38.6%)が約4割になっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## (7) 現在の生活の満足度

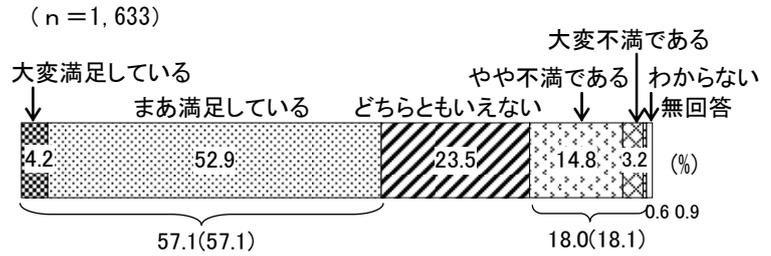
現在の生活に関する10個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(77.5%)で約8割となっている。以下、〈買い物の便について〉(61.0%)、〈近所や職場での人間関係について〉(61.0%)、〈近所や職場での人間関係について〉(54.3%)と続く。「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて『不満である』とすると、10項目中7項目で『満足している』が『不満である』より高い中、〈収入や預貯金など経済的な面について〉、〈心の安定や充実感について〉、〈仕事面や働く機会について〉の3項目は、『不満である』が『満足している』を上回っている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## (8) 住生活全般の満足度

現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.2%）と「まあ満足している」（52.9%）を合わせた『満足している』（57.1%）は約6割となっている。一方、「やや不満である」（14.8%）と「大変不満である」（3.2%）を合わせた『不満である』（18.0%）は約2割となっている。

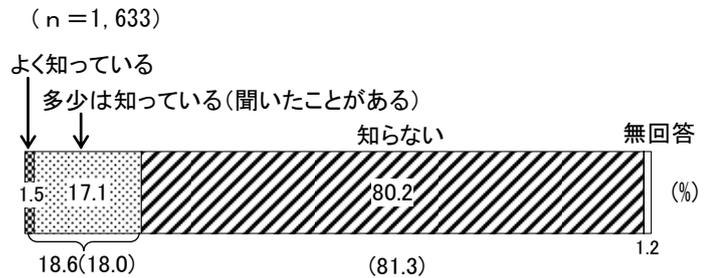


注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

## 3 健康と福祉について

### (1) 「新たな地域福祉像」の認知度

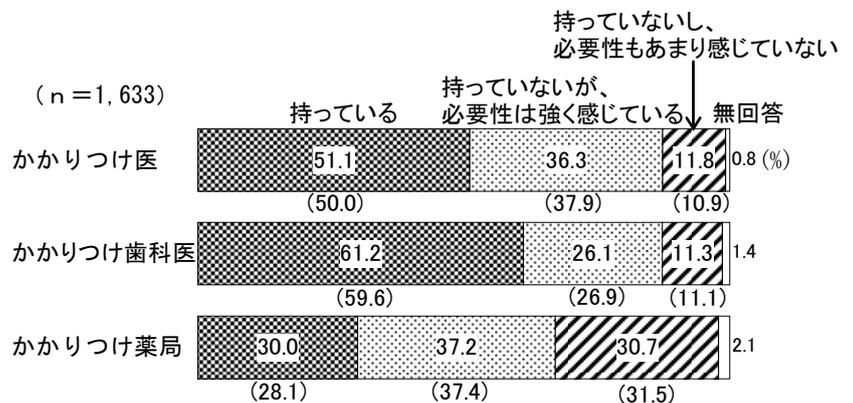
「新たな地域福祉像」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」（1.5%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（17.1%）を合わせた『知っている』（18.6%）は約2割となっている。一方、「知らない」（80.2%）は8割である。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

### (2) かかりつけ医の有無

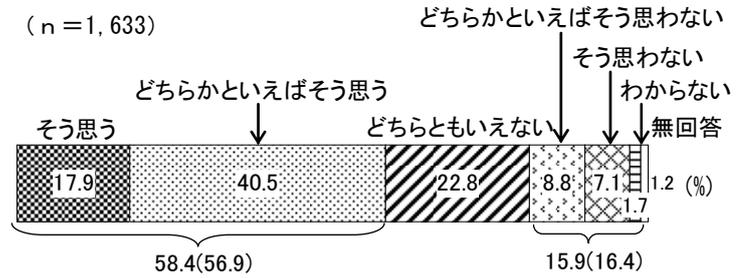
かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医（61.2%）で6割を超え、医師（51.1%）で5割を超えるが、薬局（30.0%）では3割である。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は医師（36.3%）と薬局（37.2%）で4割弱となっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（30.7%）で3割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

### (3) ありのままの姿での生活

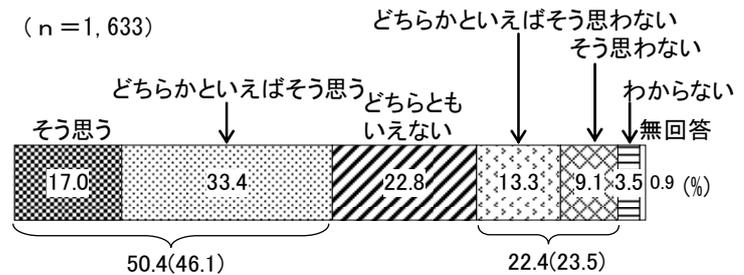
自身がありのままの姿で生活していると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.9%)と「どちらかといえばそう思う」(40.5%)を合わせた『そう思う』(58.4%)が約6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.8%)と「そう思わない」(7.1%)を合わせた『そう思わない』(15.9%)は1割台半ばとなっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

### (4) 健康づくりに取り組むことができる環境

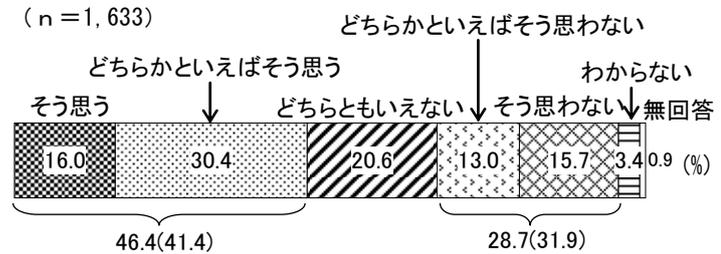
自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.0%)と「どちらかといえばそう思う」(33.4%)を合わせた『そう思う』(50.4%)は5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.3%)と「そう思わない」(9.1%)を合わせた『そう思わない』(22.4%)は2割を超える。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

### (5) 安心して受診できる医療体制

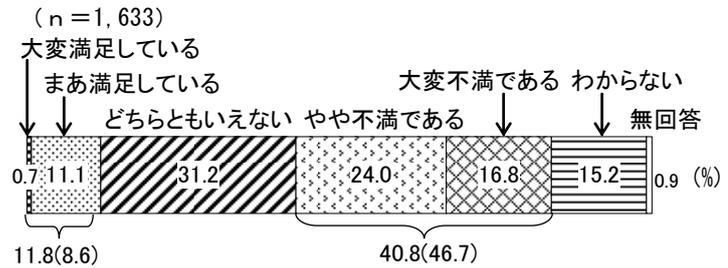
住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(16.0%)と「どちらかといえばそう思う」(30.4%)を合わせた『そう思う』(46.4%)は4割台半ばである。一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.0%)と「そう思わない」(15.7%)を合わせた『そう思わない』(28.7%)は約3割である。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

## (6) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度

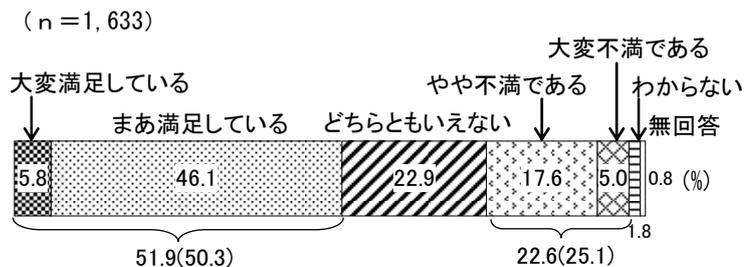
お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度を聞いたところ、「大変満足している (0.7%) と「まあ満足している」(11.1%) を合わせた『満足している』(11.8%) が 1 割を超える。一方、「やや不満である」(24.0%) と「大変不満である」(16.8%) を合わせた『不満である』(40.8%) は 4 割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

## (7) 自分や家族の健康についての満足度

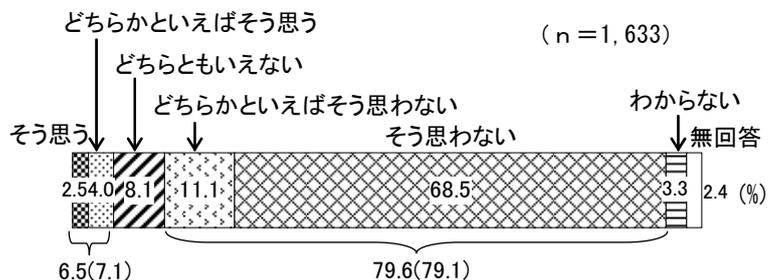
自分や家族の健康についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.8%) と「まあ満足している」(46.1%) を合わせた『満足している』(51.9%) は 5 割を超える。一方、「やや不満である」(17.6%) と「大変不満である」(5.0%) を合わせた『不満である』(22.6%) は 2 割を超える。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

## (8) 理不尽な理由による差別等

自分が理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(2.5%) と「どちらかといえばそう思う」(4.0%) を合わせた『そう思う』(6.5%) は 1 割未満となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.1%) と最も多い「そう思わない」(68.5%) を合わせた『そう思わない』(79.6%) は約 8 割となっている。

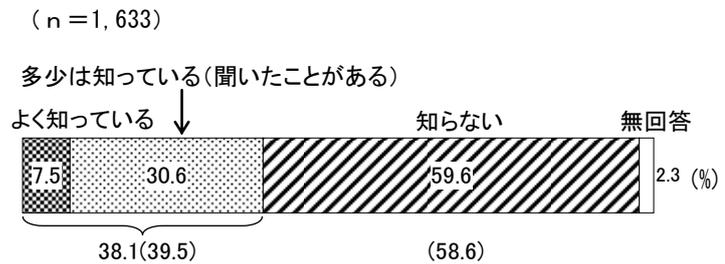


注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

## 4 千葉県の農産物について

### (1) 「ちばエコ農産物」の認知度

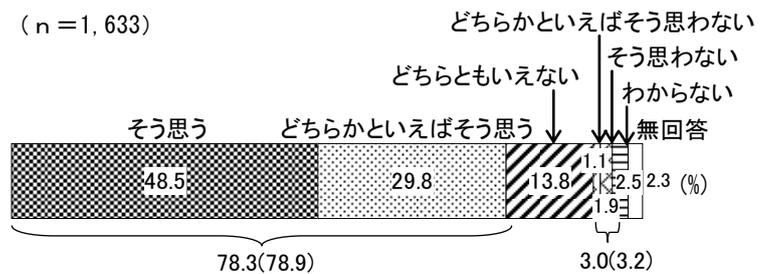
「ちばエコ農産物」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(7.5%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(30.6%)を合わせた『知っている』(38.1%)は約4割である。一方、「知らない」(59.6%)は約6割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (2) 千葉産農産物の購入意向

千葉県産農産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(48.5%)が約5割で最も高く、「どちらかといえばそう思う」(29.8%)は約3割である。これらを合わせた『そう思う』(78.3%)は約8割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(1.1%)と「そう思わない」(1.9%)を合わせた『そう思わない』(3.0%)は1割未満になっている。

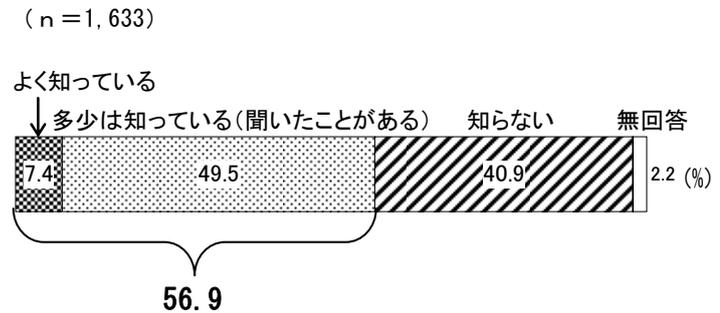


注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## 5 市民活動団体の活動について

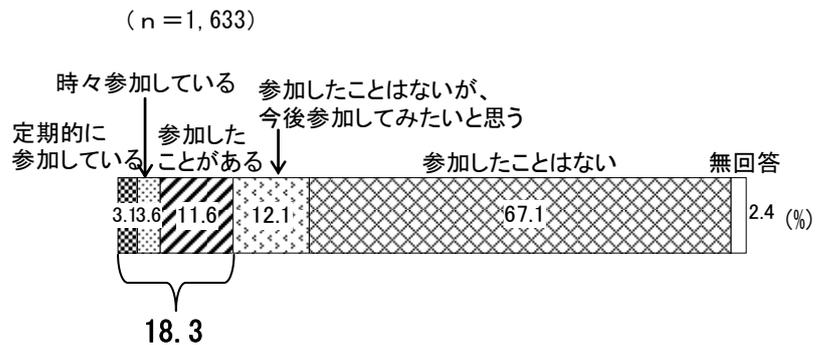
### (1) 市民活動団体の活動の認知度

市民活動団体の活動の認知度を聞いたところ、「多少は知っている（聞いたことがある）」（49.5%）は約5割で最も高く、「よく知っている」（7.4%）は約1割である。これらを合わせた『知っている』（56.9%）は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」（40.9%）は4割である。



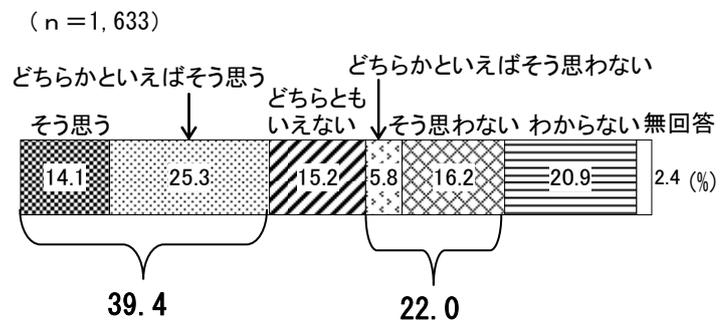
### (2) 市民活動団体の活動への参加経験

市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」（3.1%）と「時々参加している」（3.6%）、「参加したことがある」（11.6%）を合わせた『参加している』（18.3%）は約2割である。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」（12.1%）は1割を超え、「参加したことはない」（67.1%）は約7割となっている。



### (3) 市民活動団体の活動の貢献度

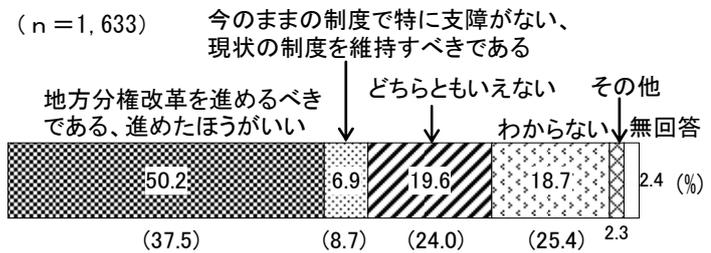
市民活動団体の活動の貢献度を聞いたところ、「そう思う」（14.1%）と「どちらかといえばそう思う」（25.3%）を合わせた『そう思う』（39.4%）は約4割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（5.8%）と「そう思わない」（16.2%）を合わせた『そう思わない』（22.0%）は2割を超える。



## 6 地方分権について

### (1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

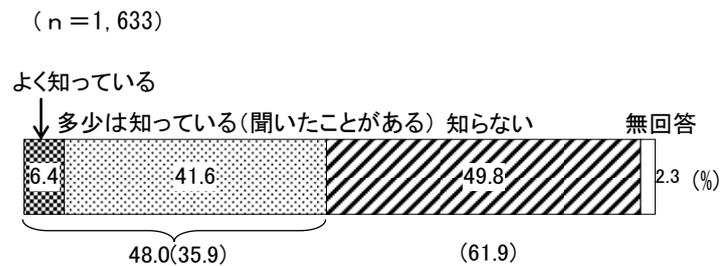
地方分権改革を今後さらに進めていくべきかどうかを聞いたところ、「地方分権改革を進めるべきである、進めたほうがいい」(50.2%)は5割となっていて、「今のままの制度で支障がない、現状の制度を維持すべきである」(6.9%)は1割未満である。また、「どちらともいえない」(19.6%)、「わからない」(18.7%)は約2割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (1-1) 「地方分権改革」認知度

地方分権改革の取り組みの認知度を聞いたところ、「よく知っている」(6.4%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(41.6%)を合わせた『知っている』(48.0%)は約5割である。一方、「知らない」(49.8%)も約5割である。

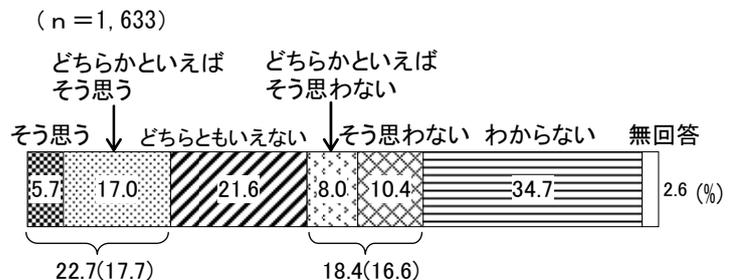


注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## 7 千葉県の施策・政策について

### (1) 県民の視点に立った政策評価に基づく県政運営

政策評価が県民の視点に立った県政運営に役立っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.7%)と「どちらかといえばそう思う」(17.0%)を合わせた『そう思う』(22.7%)は2割を超える。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.0%)と「そう思わない」(10.4%)を合わせた『そう思わない』(18.4%)は約2割となっている。また、「わからない」(34.7%)は3割台半ばである。

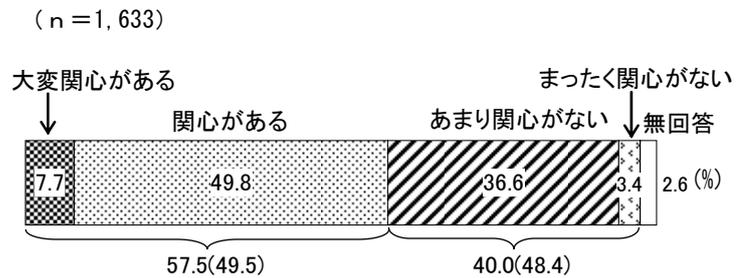


注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## 8 広報・広聴活動について

### (1) 県の政策や施策などについての関心度

県の政策や施策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(7.7%)は約1割で、「関心がある」(49.8%)は約5割である。これらを合わせた『関心がある』(57.5%)は約6割である。一方、「あまり関心がない」(36.6%)と「まったく関心がない」(3.4%)を合わせた『関心がない』(40.0%)は4割となっている。

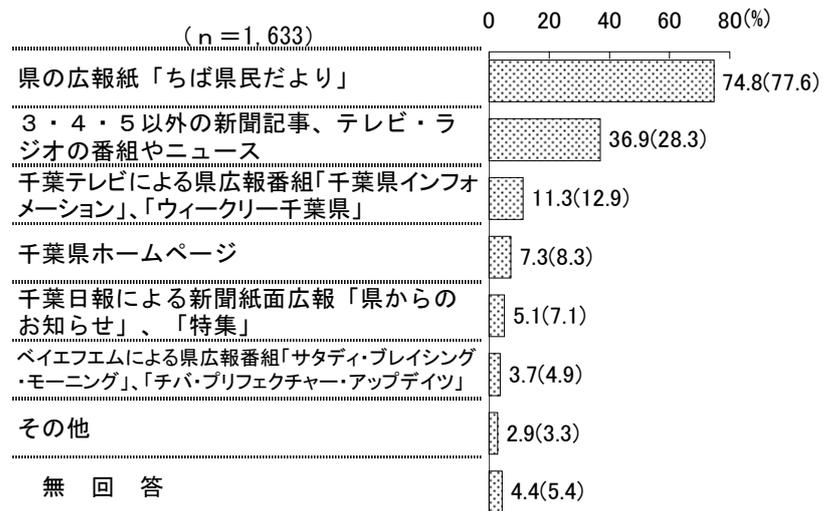


注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

### (2) 県政に関する情報を得る手段

(複数回答：いくつでも)

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県の広報紙『ちば県民だより』」(74.8%)が7割台半ばと最も多く、以下、「3・4・5以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(36.9%)が3割台半ば、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(11.3%)が1割を超え続いている。

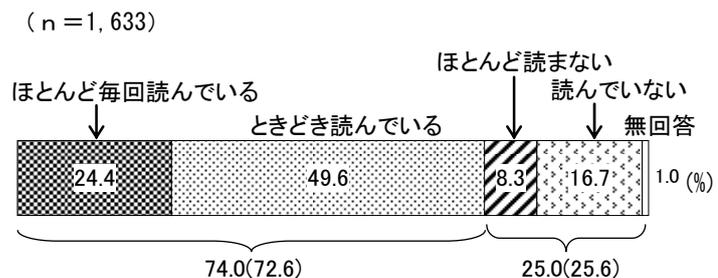


(※) 「3・4・5以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、3・4・5とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、『ウィークリー千葉県』』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」』を指す。

注) ( ) 書きは、平成 20 年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

### (3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

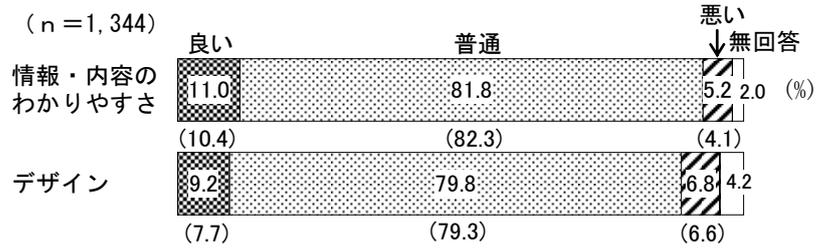
県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(24.4%)は2割台半ばで、「ときどき読んでいる」(49.6%)は約5割で最も多い。これらを合わせた『読んでいる』(74.0%)は7割台半ばである。一方、「ほとんど読まない」(8.3%)と「読んでいない」(16.7%)を合わせた『読んでいない』(25.0%)は2割台半ばである。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 20 年度の調査結果を示している。

### (3-1) 「ちば県民だより」の内容について

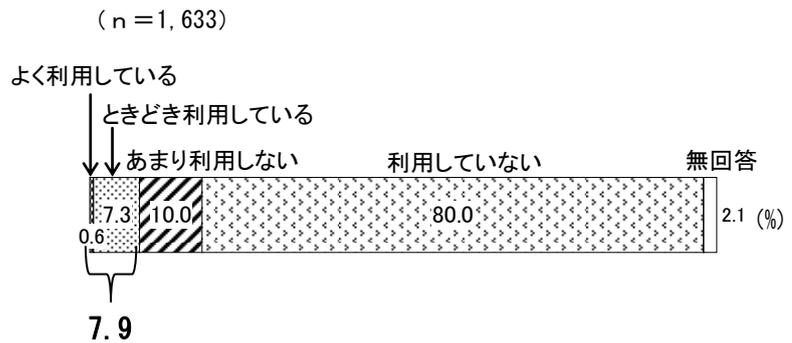
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「ほとんど読まない」と回答した1,344人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(11.0%)は1割を超え、「普通」(81.8%)は8割を超えている。〈デザイン〉において、「良い」(9.2%)は約1割で、「普通」(79.8%)は約8割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

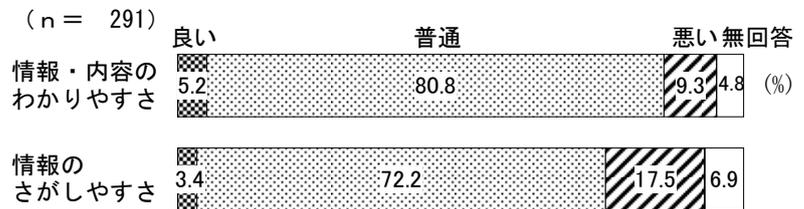
### (4) 千葉県ホームページの利用頻度

千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(0.6%)、「ときどき利用している」(7.3%)を合わせた『利用している』(7.9%)は約1割である。一方、「あまり利用しない」(10.0%)が1割で、「利用していない」(80.0%)は8割となっている。



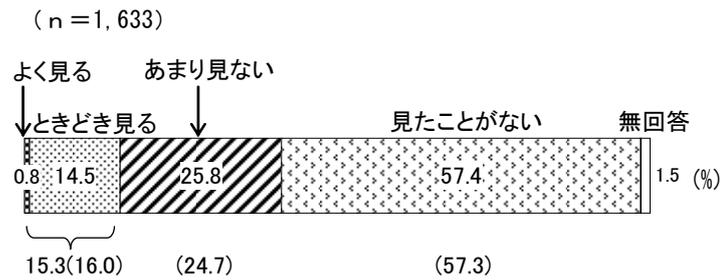
### (4-1) 千葉県ホームページの利用しやすさ

千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「あまり利用しない」と回答した291人を対象に、千葉県ホームページの利用しやすさについて聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は5.2%で、「普通」(80.8%)は8割である。〈情報のさがしやすさ〉において、「良い」は3.4%で、「普通」(72.2%)は7割を超えている。



## (5) 県の広報番組の視聴状況

県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(0.8%)と「ときどき見る」(14.5%)を合わせた『見る』(15.3%)は1割台半ばである。一方、「あまり見ない」(25.8%)は2割台半ばで、「見たことがない」(57.4%)は約6割と最も多い。

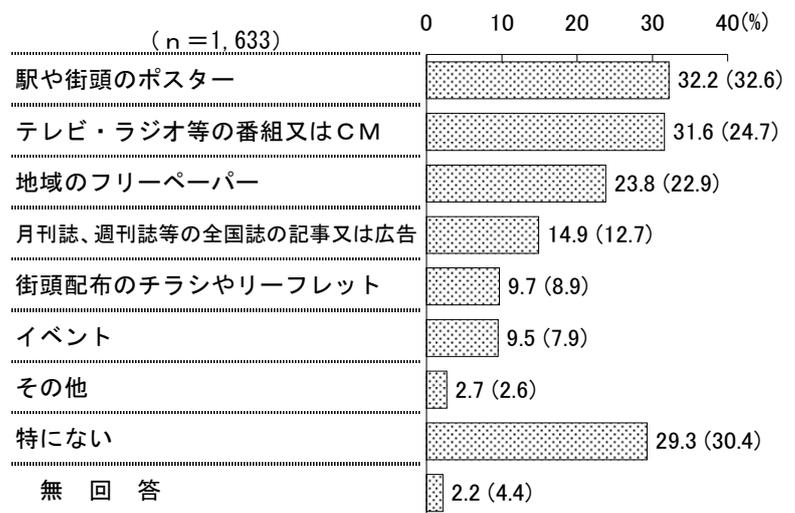


注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## (6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

(複数回答: いくつでも)

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「駅や街頭のポスター」(32.2%)が3割を超え最も高くなっている。以下、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」(31.6%)、「地域のフリーペーパー」(23.8%)と続いている。

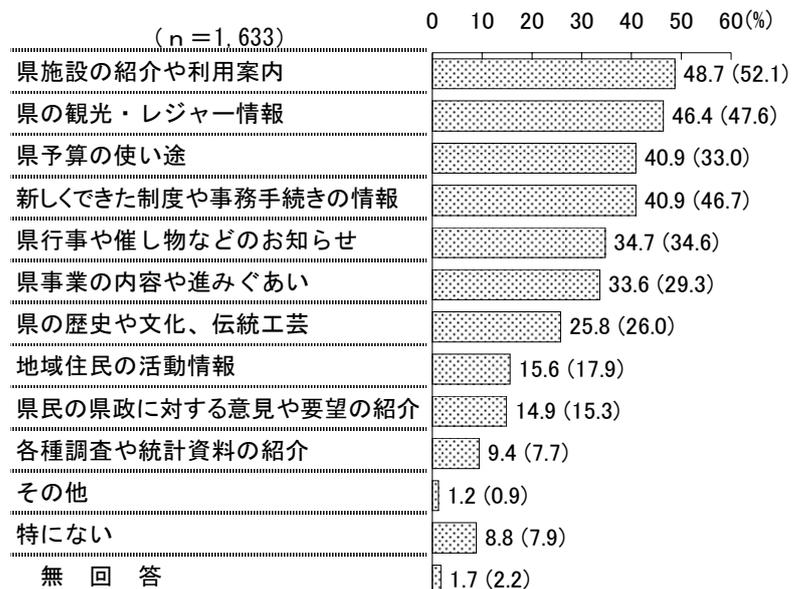


注) ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## (7) 県の知りたい情報

(複数回答: いくつでも)

県の知りたい情報を聞いたところ、「県施設の紹介や利用案内」(48.7%)が約5割と最も高くなっている。以下、「県の観光・レジャー情報」(46.4%)が4割台半ば、「県予算の使い途」と「新しくできた制度や事務手続きの情報」(ともに40.9%)が4割と続いている。

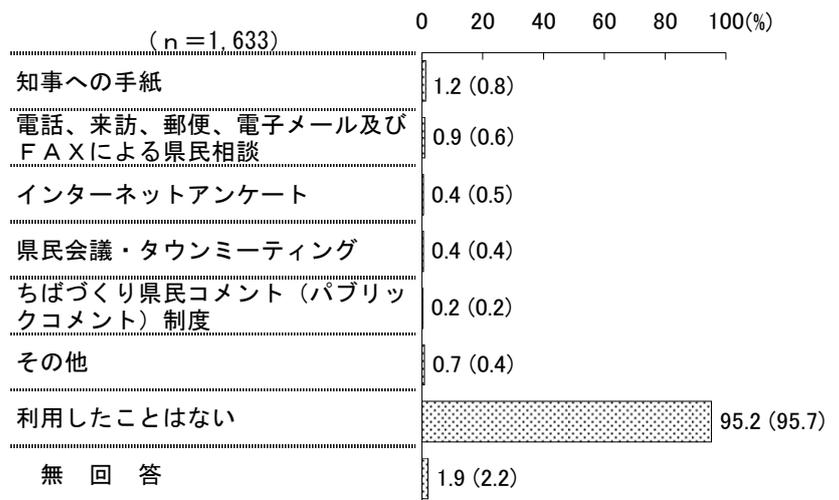


注) ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (8) 知事への手紙などで意見を述べた経験

(複数回答：いくつでも)

知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(95.2%)が9割台半ばとなっている。利用したことのあるものでは、「知事への手紙」が1.2%、「電話、来訪、郵便、電子メール及びFAXによる県民相談」が0.9%となっている。

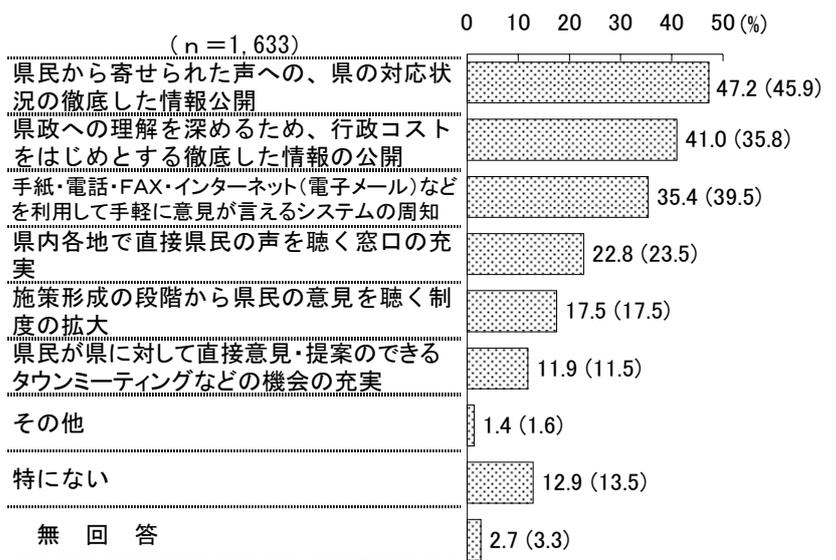


注) ( ) 書きは、平成20年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

### (9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

(複数回答：3つまで)

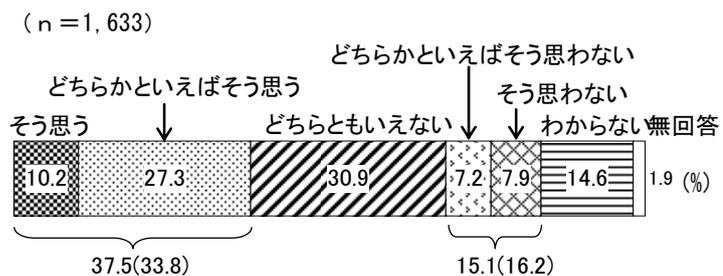
県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(47.2%)が約5割となっており、以下、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(41.0%)、「手紙・電話・FAX・インターネット(電子メール)などを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(35.4%)が続いている。



注) ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

### (10) 県政への意見の反映

自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(10.2%)と「どちらかといえばそう思う」(27.3%)を合わせた『そう思う』(37.5%)は約4割となっている。一方、「そう思わない」(7.2%)と「どちらかといえばそう思わない」(7.9%)を合わせた『そう思わない』(15.1%)は1割台半ばである。



注) 下段の ( ) 書きは、平成20年度の調査結果を示している。

## 【自由回答（抜粋）】

県への意見を自由に記述していただいたところ、496人から延べ674件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った分野で整理した。意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

### ■県政全般に関する要望

○年齢別人口を考えると、県の税収人は今後増える見込みはない事は明らかだと思います。来年、再来年と遠い将来ではなく、毎年毎年を、夢物語ではなく、県事業、県の予算の使い方を健全に進めていただきたいと願います。（女性・40代・西地域）

### ■県知事への期待・要望

○私は昨年、主人を亡くしました。生活はなんとかくらし続けていけますが、今の若い人は大変です。どうか老人と子供が安心してくらし続ける千葉県を作って下さい。知事に期待しています。（女性・50代・中央地域）

### ■高齢者の福祉を充実する

○年金暮らしで、生活が苦しいので、働きたいと求人広告に目を通しますが、年齢制限があり全々ありません。若い人に負けない位、元気で仕事する自信をあります。老人でも働けるような社会になれば良いと思います。（女性・65歳以上・西地域）

### ■道路を整備する

○他県に比べて、千葉県は道路事情が良くない。高速道、一般道ともに何年も渋滞が緩和せず、慢性化しているにもかかわらず、なんら対策を打っていない。特に東京―千葉市・房総方面の交通の中継地点となる、市川、船橋市は、国道14号、357号、京葉道。（男性・30代・西地域）

### ■住んでいる市町村への要望

○市長がもっと表に出て、よく解かるよう顔さえもわからない人が多過ぎる。私は今年こういう事をやりましたと解りやすく発表して下さい。（女性・50代・中央地域）

### ■医療サービス体制を整備する

○医療費負担の軽減もしていただけると助かります。小児科（24時間体制）が市によってまちまちな気がします。今後いろいろなみで千葉に住みつづけたい。と思うような環境作りをしていただきたいです。（女性・30代・中央地域）

### ■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○個人的には、子をもつ親としては、現在の状況では子供1人育てていくのも非常に大変なことだと感じています。1番はやはり経済面での問題だと思いますが多くの人が、子供はほしいけれども、経済的な理由や、もちろん仕事や社会的な面からも、子育てが難しいという理由から子供を作らない、作れないという人が多くいるのではないのでしょうか。（男性・20代・西地域）

### ■東京湾アクアライン

○海ホテルの高速道路料金が、八百円に値下げされ、高速道路利用者が道加しましたが、ETCを設置している人に恩恵がありますが、ETCを設置していない我が家には、何の恩恵もありません。普通車でも同額にして頂きたいです。（女性・65歳以上・東地域）

### ■便利な交通網を整備する

○交通網があまりよくなく、流通網も悪いと思います。空港がありながら、電車バスの便も悪く住民として不便を強いられている面があるのです。（女性・60～64歳・東地域）

### ■大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる

○私達の住んでいる町の上空を旅客機の低空飛行の騒音で、受験生の家庭や病人、老人の家庭が大変困っています。飛行ルート夜間の飛行を考えてほしい。（女性・65歳以上・南地域）

## 【世論調査に関する意見（抜粋）】

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、176人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載した。

- 県政にこの調査だけではどうでしょうか？もう少し具体的な政策についてどう思うか？10年後、20年後も考えながら1つ1つの政策をどう思うかなどの調査も必要では？（男性・50代・東地域）
- この世論調査を受けて、自分が未熟で無知だと思い知りました。これから少しずつ県民として、何が出来るか何をして欲しいのかじっくり考えて行こうと思います。そして自分が居る場所をより良くするために微力ながら出来ることを自ら進んでしようと思います。（女性・50代・西地域）
- この調査の結果は、今後、発表されるのでしょうか。また、どれくらい取り入れてもらえるのか、調査結果及び、これからの活用について、知っていきたいと思います。（女性・50代・西地域）
- 今回初めて自分の住んでいる県について考えてみる事ができました。とてもよかったです。いままでも、このようなことが行われていたのでしょうか？わかりませんが、毎年いろんな人がこのようなアンケートに参加する機会があればいいと思いました。（女性・30代・中央地域）
- 今までの調査をやって県政の運営が改善になったことがあるのか、文章で公表してほしい。（県民だよりでもよい）回収率はどの位なのか。（女性・40代・南地域）